

万葉図書・情報室だより42号

まんぢゅうくしゅえかるた
萬葉百首絵歌留多

「万葉百首絵歌留多」(以降、絵歌留多)は関東大震災復興記念として主婦の友社が企画、昭和二年に刊行されました。

絵歌留多にされた百首は、婦人向けの雑誌『主婦の友』に投票用紙が刷り込まれ、読者投票によって選ばれました。あらかじめ候補の歌二百首が当時の歌壇の十大家(佐佐木信綱・太田水穂・尾上柴舟・九條武子・齋藤茂吉・土岐善麿・若山牧水・柳原輝子・茅野雅子・前田夕暮)により、しぼりこまれました。そして、三度の投票により、高点順に入選歌百首が決定・発表されました。入選歌一首につき五名ずつ、計五百名に完成した絵歌留多が贈呈されました。

絵歌留多の絵は、日本画壇を代表する安田靉彦、小林古径、前田青邨、平福百穂、野田九浦が描き、歌は、戦前戦後に偉大な指導力を発揮した書家の尾上柴舟が優美な書体で

仮名書きしています。これを木版にほり、一枚一枚手刷されています。

ちなみに、尾上柴舟は、国文学者にして歌人。当館の万葉庭園にある歌碑の揮毫者のひとり杉岡華邨氏の師匠でもあります。

『主婦の友』昭和三年四月号に、絵歌留多について諸家の批評が掲載されていますので紹介します。

斉藤茂吉は「今度主婦の友社から出た『萬葉百首絵かるた』というものは、社でも非常な骨折りで、満一ヶ年の歳月を費やして完成したものである。

〈中略〉特色は、現代の五大画伯の絵を木版刷りにして堅牢な紙で拵えた点にある」と記載しています。

国民新聞社長の徳富蘇峰は「今その実物を見るに、あまりにも立派に出来上がりで、とてもこのまま使用するにはいと惜しき心地する」と評しています。

茅野雅子は「優雅な美術品。美術品として充分に鑑賞に値する。出来ることなら金の小屏風にでも張りませて、朝夕見て楽しみたい。何という上品さ、

優雅さであろう」と称賛しています。

歌人の生田蝶介は「*石川武美氏がこのことを発案し、この立派な仕事にかかってくださったことは流石だと思ふ。『主婦の友』の仕事として、まことにふさわしい仕事であった。そして名筆の名を恣にする尾上柴舟氏によって美しく書かれ、靉彦・古径・百穂・青邨・九浦の五氏によって趣深い絵が精巧なる木版によって添えられた、純日本の味である」と絶賛しています。

現在、当館ではこの『萬葉百首絵歌留多』を画家ごとに五回にわたり、一般展示室で展示しています。是非、この機会にご覧ください。

*石川武美(いしかわたけよし)

主婦の友社の創業者。女性の向上と家庭の幸福を願う理念から、「お茶の水図書館」(現「二財」石川武美記念図書館)を設立。竹柏園本(佐佐木信綱氏所蔵の万葉集関係の貴重書)や成實堂文庫(徳富蘇峰のコレクション)など国文学の研究上、貴重な資料を所蔵しています。



萬葉絵歌留多(取札)
(絵) 小林古径

○新着図書案内○

- ☆万葉こころ旅4 (中西進/奈良テレビ放送)
- ☆青木周平著作集上 (青木周平/おうふう)
- ☆よみたい万葉集 (村田右富実/西日本出版社)
- ☆和書のさまざま (国文学研究資料館/和泉書院)
- ☆古代の女性官僚 (伊集院葉子/吉川弘文館)
- ☆平城京の住宅事情 (近江俊秀/吉川弘文館)
- ☆藤原鎌足と阿武山古墳 (高槻市教育委員会/吉川弘文館)
- ☆日本書紀 乾元本 (天理大学附属天理図書館/八木書店)
- ☆天上の虹 (里中満智子/講談社)

利用案内



- 開館時間 午前10時〜午後5時半
- 休館日 1月曜日(祝日の場合は翌日)・年末年始・展示替日
- 図書室のご利用は無料です
- 閲覧でのご利用になります。
- コピーサービス 白 黒一枚 10円
- カラー一枚 50円
- 奈良県立万葉文化館万葉図書・情報室
- 奈良県高市郡明日香村飛鳥一〇
- 0744-54-11850(代)